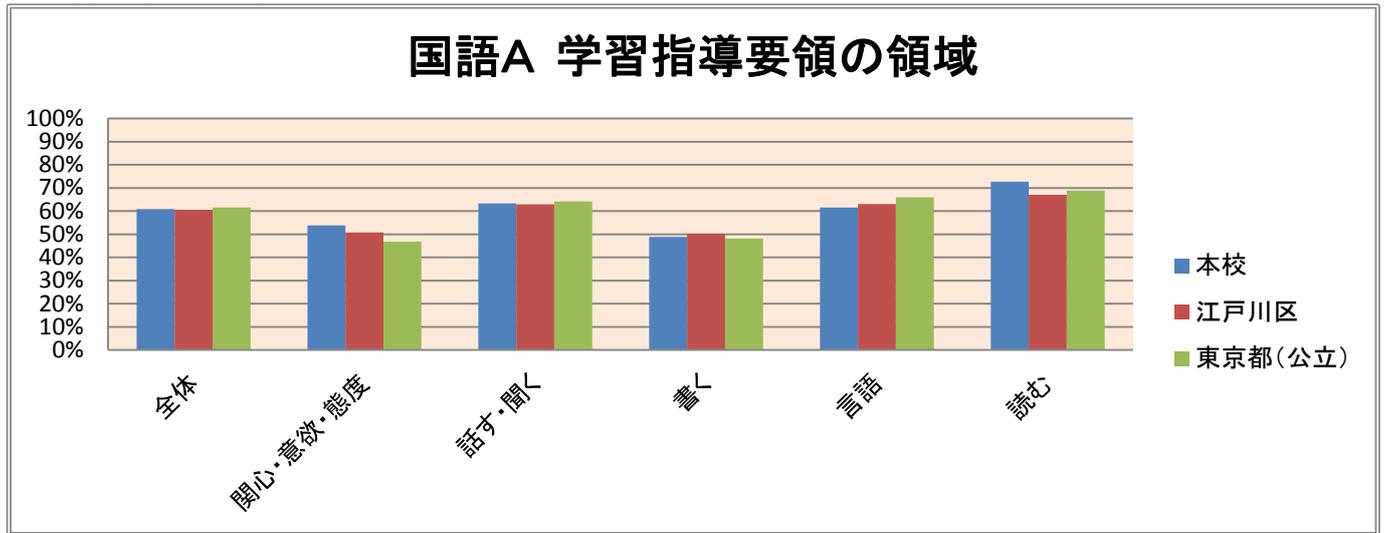


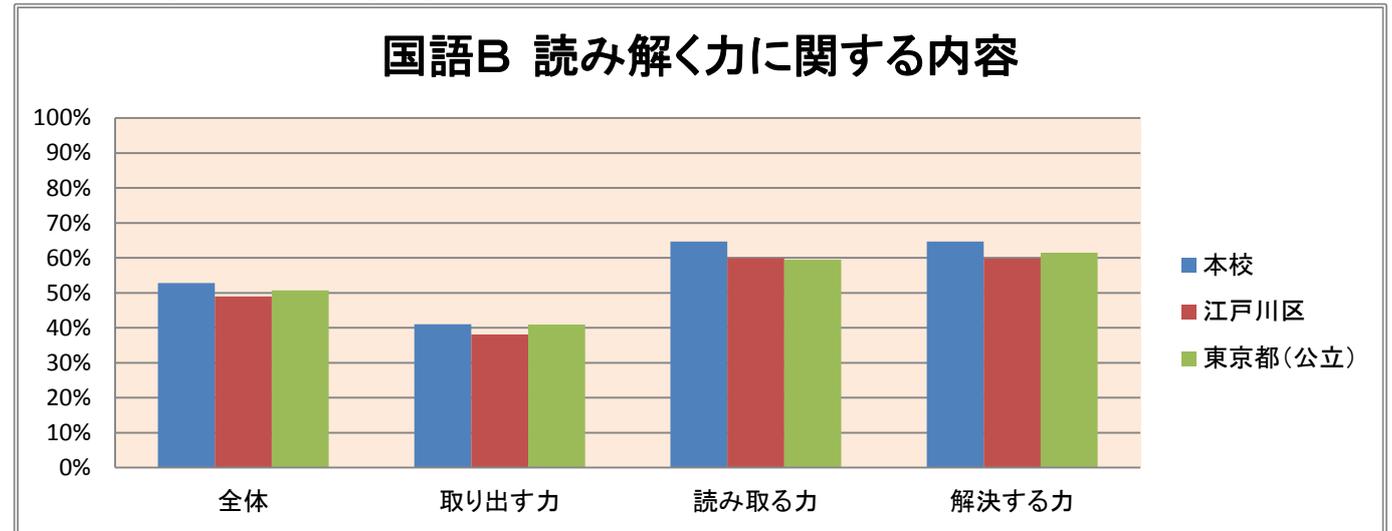
1. 分類ごとの平均正答率

(1)国語A:教科の内容



・「読む」が東京都よりも上回っている。「関心・意欲・態度」は7.0ポイント上回っている。
 生徒の「やる気」を大切に、「言語活動の充実」に計画的に取り組むことで、「書く」「話す・聞く」の伸長も期待できる。

(2)国語B:読み解く力に関する内容



・すべての項目が、東京都平均を上回っている。特に「読み取る力」が5.2ポイント上回っている。
 数多くの文章にふれさせ、問題に取り組ませしていく。

2. 今後の生活に活かすポイント (正答率が低かった問題)

- 3 中心となる内容とそうでない内容を整理しながら、話を聞いたり話し合いに参加したりすること。 正答率:32.3%
- 11 小学校6年生までに学習した漢字を、音読みや訓読みに注意して正しく読めるようにすること。 正答率:35.3%
- 13 文を書いたら、声を出して読み直してみて、おかしいところがないか確かめるようにすること。 正答率:24.1%
- 14 文を書いたら、声を出して読み直してみて、おかしいところがないか確かめるようにすること。 正答率:36.1%
- 20 「何を知るために」「何を読み取るために」という目的を明確にして文章を読むこと。 正答率:37.6%
- 21 「何を知るために」「何を読み取るために」という目的を明確にして文章を読むこと。 正答率:44.4%
- 26 相手や場面に応じた適切な言葉づかいができるよう、日頃から意識して話したり書いたりすること。 正答率:15.8%